

福岡がんピアサポート講座 第6回 (全10回)

九州がんセンター 2F会議室にて



この講座が実現したのは、日本対がん協会のテキストとDVD、そして九州がんセンターの全面的な支援のおかげです。ピアサポート(=同じ病気の仲間による支援)が日本のがん医療の場で今後必要とされてくることを受けた企画です。

-2013.7.29 Mon 13:00 ~ 17:00

肝がん すい臓がん 乳がん 各がんについての基礎知識を深める

第6回目 講義内容

- 1 限 . 13:00 (45分) **肝がんについて**
(講師：荒武 良総 / 消化器・肝胆膵内科 医師)
- 2 限 . 15:10 (40分) **乳がんについて**
(講師：大野 真司 / 臨床腫瘍研究部長)
- 3 限 . 14:00 (70分) **すい臓がんについて**
(講師：久野 晃聖 / 消化器・肝胆膵内科 医師)
- 4 限 . 16:00 (50分) **乳がんのピアサポート報告会**
(発表者：乳がん患者会)



「ピアサポート」とは

ピアサポートとは、がんという病気を体験した人や家族が、ピア(仲間)として「体験を共有し、ともに考える」ことにより、がん患者やその家族などを支援していくこと。ピアサポートを行う人を「ピアサポーター」と言います。

実体験に基づいたピアサポーターの心得



ピアサポート講座第6回目が九州がんセンターで開催されました。

1限肝がんの荒武医師によると、肝臓は他の臓器に比べて全部を切除することができない臓器とのこと、体内での働きを分かりやすく解説され、肝心かなめという表現があるように心臓同様、その重要性も再認識させられました。

2限乳がんの講義では、日米乳がん体験者の座談会を開催された際の両国のピアサポーターの位置付けや認知度の差など、大野先生の実体験に基づいたエピソードもたくさんご紹介頂き、質疑応答を織り交ぜながらの活発な授業。3限すい臓では**沈黙の臓器**と呼ばれる理由やその治療方針、手術後の影響などをお話頂きましたが、なじみの薄い病気のせいか、資料を読み込んでいる受講者の姿が多く見られました。4限の患者会報告会では、たんぽぽの会とあけぼの会、あけぼの会の病院訪問ボランティアについての事例発表。感情移入し過ぎないこと、等の心得については、ピアサポートの活動に活かそうだと思いました。次回第7回目は在宅ホスピスをテーマに公開講座を予定しています。

Fukuoka, JP

33°C Mon, 29 Jul. 2013

